

急ぎ過ぎだよ 人類は。

ゆるやかはネットワークを目指す

ITより
逢ひてエ

雑報 緑文

No. 712

2025年8月15日

編集・発行 鈴木厚正
〒266-0005 千葉市緑区菅田町2-21-359
T&F 043-291-2917

も・く・じ

- 「原早苗の消費者運動」②
- 「魔女裁判の弁護人」ほか
- お便りから
- 山仕事(8月、笠井屋、大平)
- けいじばん
- 『続・日本軍兵士』(補・終り)
- 戦時体制です!
- オーガニック右翼? 参政党
- 中国、海自艦に警告射撃
- 日本式「文民統制」は今
- 日米ご学問にハンマー

けいじばんは、11ページに。

ペジ
2
4
8
11
13
14
19
20
22
23
26



泉ゆきを『心はいつも山頭火』
(日本習字普及協会)

立て続けに販送りして
ごめんなさい。
ほんとに次の8月はない
のさ。 (と思ってる)
どうか、ご勘弁を。

メール配信をご希望の方は、
<suzukikosei.san@gmail.com>へ。
三宅伊都子さんか
応対してくださいます。

題字：故佐村隆英和尚(千葉県長柄町本光寺住職)
力ト：故泉ゆきをさん(にっぽん箱絵の会会長)

印刷機 リソグラフ RZ 330

*この号の切手はムーミン。

山仕事(8月、笠井屋、大平)

8月5日(火)。掛川駅で、久米さんの待つ天海線遠州森駅へ向かう康江さんと別れ、原田、山崎さんと若林さんの車に拾ってもらい、遠州灘にはほど近い横須賀地区を目指す。途中、街道沿いの食堂「竹うま」で昼食。山崎さんは野菜炒め、他の2名はカツカレー(1155円)。カツにボリュームがあり、よかったです。一方、野菜炒めは……、おさて論評せず。

武ちゃん(鈴木武史さん。自称「はだしの小作人」にして、自他ともに認めるお祭男)亡き後、佳子さんが進めてきた店舗改造。新設の調理場にはソバ打ちコーナーが隣接し、5席ほどのカウンター、テーブルが2脚。その一隅には「茶碗屋」笠井屋の名残りで、若干の陶器類が並んでいる。

今回、佳子さんの注文は、庭の草取り。言っちゃ悪いが、男4人がわざるほどのことりやない。もう一つは、座敷の回り縁(まわりぶち)に亡くなった人の写真を掲げること。これは、脚立にのった原田さんを見守るだけ。

この日、群馬・伊勢崎市で41.8℃と国内最高温記録を更新するなか、森町薄場(うすば)の久米さん宅へ。康江、久米さんも連れ立って「あらたまの湯」へ。

戻って、啓史さん、竹中さん(左膝を痛め、作業は休み)も一緒に、夕食。康江、久米さんが調理てくれた夕食は、

(夕)刺身(カツオ、ツブ貝、タイ、カンパチ)、ナスの煮付、キュウリのみぞれ和え、キュウリとシーチキンのショウガ煮、アジの南蛮漬、冷奴もずく添え、キュウリの一本漬。野菜の多くは、久米さんと竹中さんが育てたもの。さらに、竹中さんから刺身の盛合せの提供もあり、豪華な夕食だった。一段と嗜む力の落ちたばかりのため、固いものは細かく切ってくれるのがありがたい。

啓史さんから、正士さんの葬儀に際して感謝が述べられ、打ち解けて話しあう。通夜と告別式に参加した久米さんによると、葬儀を経て啓史さんが一般とやわらかくなったという。とにかく男の子は男親に反癒するものだが、葬儀の間、多くの人々から正士さんの人となりについて話すのをきくうちに、正士さんに対する思いが変わったようだ。よいこと。

夜は、男4名、久米さんが交渉してくれた公民館に移って休む。もとは、小学校の分校で、20畳ほどの教室だった部屋に、これで久米さんが正士さん宅から運んできてくれた布団を敷いて寝る。エアコンも付いていて快適だ。

8月6日(水)、晴。早朝、バス田に行き、竹中さんが淹れてくれたコーヒーをいただきながら、バスの花の観賞。薄場は、これからもいろいろと変わっていきそうだ。

朝食後、揃って大平へ。最初に、佐野光信さん宅に寄る。一週間ほど前、奥さんから電話があり、近くの渡辺清さん⑤も作業を頼みたいとのこと。初めて佐野さんの宅に仰ったが、玄関先の柱がオノコ(イチイ)の銘木のところどころ。玄関も立派な柱も大きい。

渡辺さんの家を教えてもらい、皆で伺う。夕方で80歳になるといふ渡辺さん。以前は何でもやれますが、病気になり、医師から止められたといふ。今回は業者に頼んだが、料金がかさむので次から頼みたいと。

午前は、正士さんの家まわりの草刈り。②
終って昼食。

(1) ソラウコンをキュウリとカニ缶とトマトのつゆ、ナス辛味漬、ナスとカボチャの揚げ浸し、キュウリの一本漬、ゴーヤの佃煮。

知世子さん(正士さんの妹さん)から美味しいスイカが

8/5(火) 猫のチの皆さんへ

冷蔵庫にありますか、

スイカ 有 食べて下さい
野菜

いつも気にかけていたにき

ありがとうございます、

午後は二手に別れる。原田、山崎さんは東側③道路沿いのツツジの刈り込み。若林さんとぼくは、佐野さんの道路際(崖と谷)の草刈り。これは早く終り、ソバ畠④の草刈り。若林さんの草刈り機が不調で、2割ほど刈ったところで止める。皆で「あらたまの湯」へ。

乗って夕食。少し遅れてゆ中さんが見える。

(火) ミナミマグロのかま煮、豚キムチ、エビとキノコと卵のケチャップ和え、春雨サラダ、厚揚げ焼 ショウガのせ。

夜は、男4名公民館へ。



8月7日(木)、くもり。若林さんは、昨日不調だった草刈り機の修理などご隣り町の「山福」へ。残る2名でソバ畑の草刈り、1時間ほどで終る。

(昼) 夏野菜とホタテのカレー、キュウリとナスとのPのサラダ。

昼食後、遠州森駅で久米さん若林さんに見送られ帰宅。

今日、大平と薄場の違いを感じた。正士さん宅のある大平地区は、ほとんどの家が高齢、病気などで自力で家のまわりの世話ができないことが多い。

一方、薄場は、戸数より戸ほど多く、自治会の組織もあり、活気がある。

今後は、大平のような地域が増える一方だ。そういう地域を元気にするため、マチの人々が協力できる施策があるといいのだ。

◆山仕事を楽しむ会◆

- ① 9月2~4日
② 10月21~23日
③ 11月25~27日
④ 12月9~11日 } 静岡・磐田市及び森町周辺で、
交通費自弁。
会員3000~5000円。